



至誠会
代表質問 廣部 真造 議員

より良い市民福祉のために3期12年の総括について

問

朝令暮改という言葉の良い意味として臨機応変に柔軟性をもって教育環境の最適化に取り組むべきと考えるがどうか

答

将来を見据えながら、勇気をもって、かつ迅速に見直すべきものは、臨機応変に直ちに行動することは、行政運営上、極めて重要な視点であると考えます



社会情勢の変化を見据えて教育環境の最適化を図ってまいります。

問

学校に登校しにくい子どもたちがいるが、課題となっている出席の取り扱いについてどう考えているか。

答

教育長

全ての子どもにとって、より良い環境を整えられるよう、これまでから学校・保護者・関係の団体等で話し合い、出席の取り扱いについて検討してきました。今後も、教育を取り巻く情勢の変化を把握しながら、子どもたちにとってより良い教育環境づくりに努めてまいります。

ツールの活用については、「高島市DX推進戦略」を策定し、

国や他の自治体の取り組みも参考に、デジタルを活用した市民サービスの向上や、行政事務の効率化に取り組んでいます。

問

教育環境の最適化の視点も強化すべきでないか。

答

市長

小中学校の計画的な大規模改修や、1人1台端末の整備、教員の負担を軽減するための公務支援システム導入など、教育環境の充実に努めてきたところです。また、市独自の

加配教員を配置し、更なる学力の向上を図るとともに、学

校と地域が協働した教育活動を展開するなど、各校の特色を生かした「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいただいているところです。

今を生きる子どもたちにとってより良い教育環境の在り方を議論し、将来を見据えながら、勇気をもって、かつ迅速に見直すべきものは、臨機応変に直ちに行動することは、行政運営上、極めて重要な視点であり、今後も引き続き、高島の将来を担う子どもたちのため、教育を取り巻く